

二国間交流事業 共同研究 (1)日本側参加者等リスト

↓赤字が表示されている行は修正が必要です↓

実施計画書と記載を合わせてください。ただし委託期間の延長により実施期間が延長になった場合は、延長後の期間を記載してください。各参加者の参加期間も同様です。

- ・指定がある場合を除き、和文又は英文で作成してください。
- ・実施期間を通して使用し、参加者等の追加や入力項目の変更などがあれば受託機関にてその都度更新してください。
- ・本リストに記載がある者が「旅費」「学会参加費」の支出対象となります(旅費についてはQ&A【Q32103】のなお書きを除く)。

■入力してください: [所属機関・部局名]

※注意事項

このファイルは実施計画書及び報告書提出時に併せて提出してください。

事業名:	韓国(NRF)	との共同研究
課題番号:	JPJSBP	123456789
実施期間:	2022/4/1	～ 2024/3/31

参加人数 (自動計算、実施計画書・報告書に転記)	5名
-----------------------------	----

下記表入力後のこの数字を実施計画書及び報告書に転記してください。

No	参加期間 (yyyy/mm/dd)		e-Rad 研究者番号	氏名	所属機関・部局名	職名	研究倫理 教育	役割 (参加者が資格dのみ)	備考	
	開始日	終了日		(PIのみ下段に英文入力要)						
1-1(PI)			12345678	山田 太郎 YAMADA Taro	学術振興大学工学部 Gakushin University Department of Technology	教授 Professor	○	参加資格がdの場合(手引4頁参照)、役割を簡潔に記載し、備考欄に「d」と記載してください。	参加期間の吹き出しを参照してください。	
1-2			23456789	田中 次郎	四ツ谷大学理工学部	助教	○		知財の専門家として助言を行う	取消
1-3			34567891	佐藤 三郎	麹町研究所	主任研究員	○			
1-4				鈴木 四郎	学術振興大学工学部	博士後期課程学生	○			
1-5			56789123	佐々木 五郎	五ツ谷法律事務所	弁護士	○		d	
1-6	2023/8/1	2024/3/31	67891234	学振 花子		主任研究員	○			
1-7										
1-8										
1-9										
1-10										
1-11										
1-12										
1-13										
1-14										
1-15										

記入漏れがある場合は※注意事項が欄外左側に赤字で表示されます。

参加期間が「実施期間」と同一の場合は日付の記載は省略可能です。

実施期間中に参加者を追加する場合はかならず「開始日」を記載してください。

実施期間中に参加期間を短縮する(途中で不参加となる)場合は必ず「開始日」と「終了日」を記載してください。

※追加又は短縮となった場合も右上「参加人数」にカウントされます。

実施計画書作成時には参加者であったがその後全く参加しない場合は備考欄に「取消」と記載してください。

【令和4年度以前からの継続課題のみ】
令和4年度以前に参加者に追加した者や参加者ではなくなった者についても記載ください。参加期間は令和4年度以前の報告書と一致させてください。

全ての参加者について開始前(参加者を追加する場合は追加前)に研究倫理教育の受講を確認し、○を付してください。

記入漏れがある場合は※注意事項が欄外左側に赤字で表示されます。

全ての参加者について開始前(参加者を追加する場合は追加前)に研究倫理教育の受講を確認し、○を付してください。

- ・参加期間が「実施期間」と同一の場合は日付の記載は省略可能です。
- ・実施期間中に参加者を追加する場合はかならず「開始日」を記載してください。
- ・実施期間中に参加期間を短縮する(途中で不参加となる)場合は必ず「開始日」と「終了日」を記載してください。
- ※追加又は短縮となった場合も右上「参加人数」にカウントされます。
- ・実施計画書作成時には参加者であったがその後全く参加しない場合は備考欄に「取消」と記載してください。
- 【令和4年度以前からの継続課題のみ】
令和4年度以前に参加者に追加した者や参加者ではなくなった者についても記載ください。参加期間は令和4年度以前の報告書と一致させてください。

二国間交流事業 共同研究 (2)相手国側参加者等リスト

↓赤字が表示されている行は修正が必要です↓

・指定がある場合を除き、和文又は英文で作成してください。

・実施期間を通して使用し、参加者等の追加や入力項目の変更などがあれば受託機関にてその都度更新してください。

・日本側委託費により滞在費等の負担が可能な相手国側参加者等は、当該リストに登録されている者に限ります(A 枠の一部事業に限ります。対象かどうかは事務取扱の手引 Appendixでご確認ください。)

■入力して下さい: [職名]

※注意事項

このファイルは実施計画書及び報告書提出時に併せて提出してください。

事業名:	韓国(NRF)	との共同研究
課題番号:	JPJSBP	123456789
実施期間:	2022/4/1	～ 2024/3/31

B1(1)シートの情報が反映されます。

参加人数
(自動計算、実施計画書・報告書に転記)

5名

下記表入力後の実施計画書及び報告書に転記してください。

委託期間の延長により実施期間が延長になった課題は、参加者の参加期間も必要に応じて更新してください。

No	参加期間 (yyyy/mm/dd)		氏名【英文】	所属機関【英文】	職名【英文】	備考
	開始日	終了日				
2-1 (PI)			ABCD EFGH	aaaaaa University	Professor	
2-2			BCDE FGHI	aaaaaa University	Associate Professor	参加期間の吹き出しを参照してください。
2-3			CDEF GHIJ	bbbbbb University	Professor	
2-4			DEFG HIJK	aaaaaa University	Assistant Professor	
2-5			EFGH IJKL	bbbbbb University		
2-6	2023/10	2023/12	FGHI JKLM	bbbbbb University	PhD student	記入漏れがある場合は※注意事項が欄外左側に赤字で表示されます。
2-7						
2-8						
2-9						
2-10						
2-11						
2-12						
2-13						
2-14						
2-15						
2-16						
2-17						

・相手国側代表者 (PI:Principal Investigator)を先頭に記載してください。

・「氏名」「所属機関」「職名」はすべて英文表記としてください。

・参加期間が「実施期間」と同一の場合は日付の記載は省略可能です。

・実施期間中に参加者を追加する場合はかならず「開始日」を「年／月／日」で記載してください(ただし表示は「月」までとなります)。なお、日が不明の場合は、開始日の場合は1日、終了日の場合は当該月末日を入力してください。

・実施期間中に参加期間を短縮する(途中で不参加となる)場合は必ず「開始日」と「終了日」を記載してください。表示及び日が不明な場合の入力方法は上述の追加する場合と同様です。

※追加又は短縮となった場合も右上「参加人数」にカウントされます。

・実施計画書作成時には参加者であったがその後全く参加しない場合は備考欄に「取消」と記載してください。

【令和4年度以前からの継続課題のみ】

令和4年度以前に参加者に追加した者や参加者でなくなった者は、参加期間を令和4年度以前の報告書と一致させてください(相手国側参加者に係る滞在費等を委託費で負担できる場合の追加の「開始日」は振興会承認日)。

二国間交流事業 共同研究 (3)派遣・受入実績

↓赤字が表示されている行は修正が必要です↓

・指定がある場合を除き、和文又は英文で作成して下さい。

・実施期間を通して使用して下さい。

このファイルは報告書提出時に併せて提出して下さい。

■入力してください:[経費負担有無]

※注意事項

事業名:	韓国(NRF)	との共同研究
課題番号:	JPJSBP	123456789
実施期間:	2022/4/1	～ 2024/3/31

延べ人数(自動計算、報告書に転記)

	派遣		受入
	相手国	第三国	
2022年度		1	1 (1)
2023年度	1		1 (1)
2024年度	1		1 (1)
2025年度			

当該報告年度分のみの記載でも可としました(例:2023年度実績報告の際は2022年度の記載省略可)。様式4作成の際は過年度の報告も確認の上記載してください。

訪問先が複数ある場合は列挙してください。

自動計算で表示される「受入」のカッコ内は委託費で滞在費等の経費を負担しない。

B1(1)シートの情報が反映されます。

下記日付の基準を確認の上記載してください。

渡航の場合:
「自＝旅行開始日」及び「至＝旅行終了日」

受け入れの場合:
「自＝日本滞在開始日」及び「至＝日本滞在終了日」

No	実施年度 (YYYY年度)	種別 (「派遣_相手国」「派遣_第三国」「受入」から)	渡航者/来日者	本委託費による経費負担	旅行/滞在期間 (yyyy/mm/dd)		主たる訪問先(機関名)、用務内容	訪問国 (第三国のみ)
					自	至		
1	2022年度	受入	ABCD EFGH	○	2022/8/1	2022/8/4	学術振興大学、共同研究打合せ	
2	2022年度	派遣_第三国	鈴木 四郎		2023/3/1	2023/3/4	cccccc University、学会発表	アメリカ
3	2023年度	派遣_相手国	鈴木 四郎	○	2023/6/1	2023/6/5	aaaaaa University、bbbbbb University、共同研究にかかる実験	
4	2023年度	受入	BCDE FGHI	○	2024/3/1	2024/3/5	四ツ谷大学、共同研究にかかる実験	
5	2024年度	受入	BCDE FGHI	○	2024/5/1	2024/5/5	学術振興大学、共同研究にかかる実験	
6	2024年度	派遣_相手国	学振 花子	○	2024/5/10	2024/5/15	aaaaaa University、共同研究打合せ	
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

プルダウンに表示されるB1(1)又は(2)シートに記載のある参加者等から選択して下さい。

記入漏れがある場合は※注意事項が欄外左側に赤字で表示されます。

プルダウンから該当選択肢を選択して下さい。

「派遣_相手国」:
委託費負担での日本国側参加者等の相手国への渡航

「派遣_第三国」:
委託費負担での日本側参加者等の第三国への渡航

「受入」:
相手国側参加者等の日本への受入

経費負担の有無について下記確認の上「○」を付して下さい。

「派遣」:
全ての派遣に「○」付して下さい。

※「○」のつかない(＝本委託費で経費を負担していない)派遣は記載不要です。

「受入」:
日本滞在中の滞在費等を本委託費で負担した場合は「○」を記入して下さい。

※A枠の一部事業に限ります。対象かどうかは事務取扱の手引Appendixでご確認ください。

種別で「派遣_第三国」を選択した場合は国名を記載してください。

二国間交流事業 共同研究 (4)研究発表実績

↓赤字が表示されている行は修正が必要です↓

・指定がある場合を除き、和文又は英文で作成してください。
・実施期間を通して使用してください。
・本共同研究の一環として本事業による支援を受けたことを明示して、日本側参加者が発表したものを記載して下さい。相手国側参加者のみの場合は入力不要です。

当該報告年度分のみの記載でも可としました。(例:2023年度実績報告の際は2022年度の記載省略可)。

■入力してください:[種別]

※注意事項

記入漏れがある場合は※注意事項が欄外左側に赤字で表示されます。

このファイルは報告書提出時に併せて提出してください。

事業名:	韓国(NRF)	との共同研究
課題番号:	JPJSBP	123456789
実施期間:	2022/4/1	～ 2024/3/31

B1(1)シートの情報が反映されます。

DOI(デジタルオブジェクト識別子)は論文に付与されていない場合は不要です。

発表に関して本委託費より経費支出を行った場合は「○」を付してください。

実績年度を選択してください(例:2023年度実績を2024年4月にJSPSへ提出する場合は「2023年度」を選択。)

No	実施年度 (YYYY年度)	種別	発表地 (国名) 学会発表、国外のみ	発表詳細【一行に一つの発表を、下記に指定する順で記載】 論文発表:著者名、論文表題、雑誌名、巻号、発行年、最初と最後の頁、掲載論文のDOI 学会発表:発表者名、発表表題、学会等名、発表年 図書:著者名、著書名、出版社名、発行年、総ページ数	日本側参加者等1名 左記の複数の著者・発表者のうち、日本側参加者等1名のみを選択	経費支出有無
1	2023年度	①論文__相手国側参加者等との共著論文		YAMADA T. AAA A, BBBB B, ABCD E, Research for △△. Journal of ○○. 111,2023,222-333, doi:110.1241/ x x .60.502	山田 太郎	○
2	2023年度	④学会__口頭発表(国外)	中国	田中次郎、佐々木五郎、Research for △△, International Conference of x x. 2023	田中 次郎	
3	2023年度			学振花子、△△について、□◆出版社、2023、301	学振 花子	
4	2023年度	⑥学会__ポスター発表(国外)	メキシコ	山田太郎、AAAA A、▲△を用いた◎◎の合成研究、 x x 学会年会、2023	山田 太郎	
5						
6						
7						
8						
9						

プルダウンから該当選択肢を選択してください。

- ①論文__相手国側参加者等との共著論文 ②論文__相手国側参加者等を含まない論文
③学会__口頭発表(国内) ④学会__口頭発表(国外)
⑤学会__ポスター発表(国内) ⑥学会__ポスター発表(国外)
⑦出版

「発表詳細」欄の複数の著者名／発表者のうち日本側参加者等にあたる1名を、B1(1)に登録した参加者から選択してください。